

【効果音…ノック】

（ドア越しの声）

【二人…位置…正面・中距離】

ヴィ「頼もう！」

ノア「たのもー」

【効果音…ドア開閉】

ヴィ「突然の訪問、申し訳ありません。

私の名前はヴィクトリア。そしてこっちが……」

ノア「ノアです。姉さんと同じく、剣士です」

ヴィ「風の噂で、あなたが手練れの剣士だとお聞きしました。

私たち姉妹は、魔物を討伐する旅をする冒険者です。

しかし……」

ノア「このところ、魔物が強くなってきたみたいで……近頃は敵わずに逃げるが増えて来ちゃったんです」

ヴィ「ですから、手練れだというあなたに、弟子入りをさせていただきたく参りました！

どうか私たちを、あなたの弟子にしてくださいっ。

（ノアに向かって・小声で）おい、ノアっ。お前も頭を下げろっ」

ノア「あ……っ。で、弟子にしてください……っ。お願いしますっっ」

ヴィ「あ、あなたが弟子を取らない主義だというのもお聞きしました。

しかしっ、それを承知でなお、弟子にしていたきたいのですっ」

ノア「実は、ノアたち……両親を魔物に殺されちゃったんです。

もう、10年は前になるんですけど……」。

あの醜いオークの顔は、忘れられません……」

ヴィ「そのオークの巢を、近頃発見いたしました。しかし、今の私たちに、そのオークを倒すことはできません……っ。

ですから、そのオークを倒せるようになるまで構いませんっ。

どうか、あなたの弟子にして、私たちを……鍛えてくださいっ。お願いいたします……っ」

ノア「弟子にしてくれたら、なんでもしますから……っ。

お願いします……っ」

ヴィ「ノアの言うとおりです……っ。身のお回りのお世話でも、雑用でも、なんでもいたします。ですから、どうか……っ」

ノア「……え……？ い、いいんですか？

ノアたちのこと、弟子にしてくれるんですねっ！？」

ヴィ「ありがとうございます……っ。では、今からあなたのことをお師匠様と呼ばせていただきます……っ。

どうかよろしくお願いいたします、お師匠様っ。

やった……。やったぞ、ノア……っ」

ノア「うんっ。よかったね、姉さん。あは……っ」

ヴィ「早速稽古をつけてくれるんですねっ。はい、よろこんで！」

ノア「ありがとうございます、お師匠様っ。んふふふ……っ」

2

【効果音…ドア開閉】

【二人…位置…正面・中距離】

ヴィ「こ、この部屋は……？」

ノア「剣の稽古なのに……中でするんですか？」

ヴィ「訓練所というわけでもなさそうですが……というか、明らかに、普通の居間……」

ノア「強くなるためには、剣の腕を鍛えるだけではないけない……？」

な、なるほど……？」

ヴィ「では、一体何を……」。

【効果音…ズボン脱ぐ】

ぬあっ!？」

ノア「お、お師匠様っ!？ な、なんで、お、おち……っ、おちんちんを……っ!？」

ヴィ「お師匠様のちん……だ、男性器を、触れ、と……？」

よ、鎧を脱いで、裸になって……!!？」

そ、それが最初の訓練なのですか？

し、しかし……っ。く……っ」

ノア「……でも、姉さん……。ノアたち、せっかく弟子にもらったんだよ？

ここで断っちゃったら……。

だったら……っ。お師匠様が言うんなら……っ、ノア、触ります……っ。

【効果音…鎧・服脱ぐ】

っはあ……っ。よ、よし……っ」

ヴィ「な……っ、の、ノア……っ!？」

ノア【移動…左耳・近距離】

ここに立てば……いいんですね？

わ、わかりました……。こ、ここで、お師匠様のおちんちんを……。

【効果音…手コキ 開始】

握って……しこしこ……。

んっ、っふう、はあ、はあ……っ。ど、どうですか、お師匠様……っ」

※台詞中以外も軽い息遣いや、「しこしこ」という台詞を継続・ターン制にならないように

ヴィ「の、ノア……っ。お、お師匠様のを、て、手で、しこいて……」

ノア「しこ、しこ、しこ、しこ……っ。

ん、う……。お師匠様の、すごく熱い……っ。お、おちんちん、まともに見るの、初めて
だけど……。こんな……。

はあ、はあ、はあ……」

ヴィ「あ……っ、は、はい……っ。申し訳ありません……っ。わ、私も……っ。

少々お待ちを……っ。

【効果音…鎧・服脱ぐ】

【移動…右耳・近距離】

こ、こちらで……見学、ですね……。んう、はあ……」

ノア「しこしこ、しこしこ……。んう、ふう、はあ、はあ、はあ……。

え……。？ の、ノアの……。経験ですか？

それは、えっと……。あ、ありません。処女です……。

おちんちん、見るのも、触るのも、ほとんど初めてで……。っ。はあ、はあ……」

ヴィ「私は……。その……。い、一応、経験自体はないと言うのでしうが……。

実は以前……。ゴブリンに不意を突かれ、犯されかけたことがあります……。

挿入だけされて、直後にノアに助けてもらったことがあります……。

なので、処女とは言えませんが……。我ながら、不甲斐ない……」

ノア「だから、それ以外では姉さんも、私も……。何にも経験、ないです……。

ずっと旅して、魔物だけ倒してきましたから……」

ヴィ「し、しかし……。な、なぜこんな話を……？

これが何の訓練になると言うのですか……？」

ノア「……。え？ お、終わり？ 手、止めるんですか？

は、はい……。

【効果音…手コキ 停止】

ヴィ「次は私が、お、おチンポを……？

あ、い、いえ、わかりました……。っ。お師匠様のおチンポ、手コキ、させていただきます
……。っ。

んっう、はあ……。大丈夫、あのゴブリンと比べれば、なんてことない……。っ。
ん……。っ。

【効果音…手コキ 開始】

はあ、ふう、ふう、んう……。おチンポ、しこしこ、しこしこ……。んう……」

※息遣い・「しこしこ」 継続

ノア「は、はい……っ。もっと身体、密着させるんですね……？」

身体……おっぱい、ぎゅうって、当てる……っ。

んっぁ……っ。肩、抱かれちゃってる……っ

ヴィ「っはぁ、っはぁ、はぁ、っふう……っ。お師匠様の身体……っ。さ、さすが、手練れの剣士と言うだけあって、たくましく……っ。

密着した肌から、強靱さが伝わってきます……っ。今まで出会った男たちの中でも、一番……っ

ノア「うん……っ。だ、抱きしめられた腕も……っ。すごく、力強くて……っ。

オスって感覚、強い……っ。はー……、はー……、はー……っ

ヴィ「おチンポも、こんな……っ。ザコゴブリンのものよりも雄々しくて……。ふー……、はー……。

だというのに、恐怖は感じない……。同じ人間のものだから……でしょうか……。

はぁ、はぁ、はぁ、はぁ……。」

ノア「え……？ あ、今度はノアもいっしょに……？ は、はい……っ。

ね、姉さん、いい？」

ヴィ「あ、ああ……。頼むぞ、ノア」

ノア「うん……っ」

【効果音…ダブル手コキ 開始】

※二人同時

ヴィ「んっ、はぁ、ふう、ふう、はぁ、はぁ……」

ノア「うんっ、んっう、んっ、っふ、んっうん、はっぁ……」

※お互い喋っていない方は息遣い・「しこしこ」 継続

ヴィ「お師匠様、いかがですか……？」

私たち姉妹二人の、同時手コキ……」

ノア「おちんちん、気持ちいいですか……？」

ヴィ「はぁ、はぁ……。おチンポ、熱くて……。硬く、大きく膨らんで……。なんて、勇ましい……」

ノア「それに……こっちもすごいよ、姉さん……」

タマタマ、ずっしり……。たつぷたふに、溜まつちやってるの、丸わかりで……」

ヴィ「ほ、本当だ……。なんて重たそうなキンタマ……」

あ、いや……。く……。つ。な、なんて、はしたない言葉を……。つ」

ノア「お師匠様、ここ……。触っていい？」

キンタマ、もみもみって……。ほら、もみ、もおみ……」

ヴィ「んあ……。つ。お師匠様のおチンポ、びくびく跳ねて……。つ。き、キンタマ揉みが、そんなに……。？」

ノア「このまま続ければいいんですね？ うん、わかりました……。つ」

※二人同時

ヴィ「はっ、はっ、んっう……。つ。しこしこ、しこしこ……。おチンポ、しこしこ……」

ノア「しこしこ、しこしこ……。キンタマ、揉み揉み……。タマタマ、ぎゅっ、ぎゅっ……」

ヴィ「ふう、ふう、ふう、はあ……。つ。お師匠様……。つ。おチンポから、何やら、汁が……。つ。

これは……」

ノア「我慢汁……。ですよね、お師匠様……」

おちんちん気持ちよくて、カウパー漏れて……。お射精、準備……」

ヴィ「せ、精液、出てしまいそうなのですね……。？ で、では……」

ノア「さらに激しく……。？ わ、わかりました……。つ。姉さん……。つ」

ヴィ「ああ……。つ。お師匠様……。つ。おチンポ手コキ、いっぱい、させていただきます……。つ」

【効果音…手コキ・激しく 開始】

ヴィ「しこしこしこしこ、しこしこしこしこ……。つ」

ノア「キンタマもいっぱい、もみもみ、もみもみ……。つ。精液いっぱい、出てくるように……。つ」

ヴィ「はい……。つ。どうぞ、お師匠様……。つ。出してください……。つ。

私たちの手コキで、おチンポ、びゅーびゅー……。つ」

ノア「たくさん精液、ぴゅっぴゅしてくだい……っ」

※二人同時

ヴィ「どうぞ、どうぞ……っ。お師匠様……。おチンポ、イッてください……っ」

ノア「出して、お師匠様……。っ。おちんちんぴゅっぴゅ、おちんちんぴゅっぴゅ……っ」

【効果音…射精】

※二人同時

ヴィ「んっうあ……。っ。精液、出て……っ」

ノア「はあ……。っ。ザーメン、どくどくう……っ」

ヴィ「はあ、はあ、はあ、っはー……」

ノア「いっぱい、出てますね……。お師匠様の、たっぷり……」

ヴィ「なんて力強い……。っ。どくんどくんと、大量の精液……。っ」

ノア「すごい、お師匠様……。おちんちん、かっこいい……」

ヴィ「はあ、はあ、はあ……」。

ノア「あ……。このまま、次のお稽古、するんですね……。？ わ、わかりました……」

ヴィ「っ、次の稽古も、どうか、よろしくお願いいたします……」。

（ちよつと発情気味に）ふー……。ふー……。ふー……」

【ヴィ…位置…右耳・近距離】

【ノア…位置…左耳・近距離】

ヴィ「では、お師匠様……。次の稽古は……」。

っ、次こそは剣の稽古を……」

ノア「え……。べ、ベッドに横に？ ですか？」

ヴィ「な……っ。ということは、もしかして……」

ノア「お、おまんこ生ハメの、お稽古、って……っ。ほ、本当ですか……っ？」

ヴィ「ま、待ってください、お師匠様。さ、さっき聞いたでしょう？」

ノアはまだ、未経験の処女なのです。だというのに、お師匠様と、交わるなんて……っ。

……処女だからこそ、とは……？

……わ、私みたいな事にならないように、今のうちに……？

そ、それは……確かに、ノアにはあんな目には会って欲しくありませんが……っ」

ノア「いいよ、姉さん。ノアは……平気。

ううん。というか……お師匠様のおちんちん、ほら……。

まだ、こんなにおつきくて……。硬くて、あつつくて……。

ノアも、このおちんちん見てたら、おまんこ、熱くなって来ちゃってるし……。

このおちんちんになら、ノア……初めて、捧げちゃってもいいって……思ってるから……。だから、お師匠様……。ノアの、初めておまんこ……。お師匠様のおちんちんで、貫いてください……。っ。

ノアのこと、いっぱい、気持ちよくしてください……。っ。

【効果音…ベッド軋む音】

【移動…正面・近距離】

んっあ……。っ。お、お師匠様……。っ。うううん……。っ」

ヴィ「の、ノア……。っ。辛そうだったら言うんだぞ？ 初めてを破られるというのは、あれ

はなかなか、痛いものでな……」

ノア「う、うん……。っ。大丈夫……。っ。我慢するから……。っ。

じゃあ、お師匠様、お願いします……。っ。

はあ、はあ、はあ……。

【効果音…水音】

んっう……。っ。お師匠様……。っ。

【効果音…徐々に挿入】

んっう……。っ。あっ、あっ、入る……。っ。んう……。っ！？

(全然痛くない) つお…………つ、おっおお…………つ。お師匠、様あ…………つ。おちんちん…………つ。
んうっおっ、おおっおおお…………つ。

【効果音…挿入完了】

っおお…………つ。っおっ、んっ、んっううっ、へっああ…………つ。
はっ、はあ…………つ。入った…………っ!？ お、おちんちん、ホントに…………っ!？
なに、これ…………つ。ぜ、全然痛なくなつて…………つ。てか、むしろ…………つ。

【効果音…セックス 開始】

っおおお…………っ!？ お師匠様っ、待つてっ、ばんばんっ、んっおお…………つ。
んんっ…………んお、おん、んっ、お、おお、ううっ、うん、おん、おんっ、お、おっ、うん、
んっ、んっく、んっふ…………。

おちんちん、ずぼずぼっ、んっおっ、おっおお…………っ」

※オホ声継続

ヴィ「の、ノア…………？ 初めてのはずなのに、どうして、そんないきなり…………つ。

お、お師匠様の腰振りに合わせて、ひ、卑猥な声を、たくさん…………っ」

ノア「わ、わかにやい、っよ…………つ。っおおお…………つ。

でもっ、おまんこっ、気持ちいい…………つ。んうっおお…………つ。魔物の花に、媚薬、嗅が
されたときみたいに…………つ。

ううん、あれ以上に、んっおお…………つ。おまんこっ、きゅんきゅんつてえ…………つ。っおお
お…………つ。

おほおっ…………おおんっ、おんっ、いや、やん、んおう、おう、おん、おんっ、んおっ、ん
おうっ…………」

ヴィ「あ、あれ以上の快感…………!？ お師匠様のおチンポ、そ、そんなに…………つ。

(期待につばを飲み込む) ごっくん…………つ。はあ、はあ…………つ。

お、お師匠様…………。私は一体、どうしたら…………。

…………耳舐め、ですか？

わ、わかりました。お師匠様のお耳を舐めて、お手伝い、いたします…………つ。

はあ、はあ、はあ…………。んう…………つ。

【囁き】

お耳…………失礼いたします…………。

(耳舐め) える、えう、れる、れろ…………んあ、んちゅ、ちゅぶ、ちゅば…………」

※耳舐め継続

ノア「んおっ、おん、んくっ、んうっ……、んお、おおん、おっ、おんっ、んう、んお、んおっ、おっ、おっ、おっ、おっ……。」

っおおお……っ。おまんこ、気持ちいい……っ。お師匠様……っ。セックス、気持ちいいです……っ。んっおお……っ。

んっ、おん、んお、おっく、んっく、いや、いお、ん、んうっ、んお、んおう……」

ヴィ「ノアの、あんなに乱れる姿……初めて見ました……。」

お師匠様がおチンポピストンする度に、おっぱいが、だぶんだふんと、卑猥に揺れて……っ。

はー……っ、はー……っ。私も、あんな風に、なってしまうのでしょうか……？」

ノア「んっ、おお、おおんっ、おんっ、いや、やん、んおう、おう、おん、おんっ、んおっ、んおうっ……。」

んっおおっ！？ おっぱいつ、んっうう……っ。お師匠様の手でっ、むぎゅうって、鷲掴み……っ。んっおお……っ。

うっく、うぐ、うお、うおん、おん、ほおっ、おほっ、おほおっ……。おっぱいい、気持ちっ、いいい……っ。んっおおっ、ほおっおおお……っ。

ゴブリンに触られたときは、気色悪いだけ、だったのに……っ。

お師匠様に触られたところっ、熱くてっ、ぞくぞくってっ、おっほっ、んっおお……っ。

おっ、おおっ、おっ、ほおっ、おんっ、おん、おんっ、やんっ、ふおっ」

ヴィ「はー……っ、はー……っ。お師匠様……っ。なんて勇ましい……っ。

私も早く……っ、あなたに、おまんこ……っ。ゴブリンに犯されかけた記憶を、上書きしてもらいたいです……っ」

ノア「おっ、おっい、んお、おおん、おっ、おんっ、んう、んお、んおっ、おっ、おっ、おっ、おっ……。」

んっううう……っ。おっ、んおおおっ、ふうおおおお……っ。

おおおおっ！？ 乳首っ、乳首までっ、いじられてっ、んっおおお……っ。

お師匠様……っ。だめえ……っ。お師匠様、セックス、上手すぎです……っ。んっおおお……っ。

ハマっちやう……っ。私、セックス、初めてなのに……っ。一回目なのに……っ。

好きになっちやう、よお……っ。んっおおお……っ。

おまんこもっ、おっぱいつ、好き放題っ、されちゃってえ……っ。でも、気持ちいいのお

……っ。ほっおお……っ

ん、つく、ん、んふう、んお、おう……。んお、お、んおっ、おおっ、ううおっ……」

ヴィ「はー……っ、はー……っ。

うう……っ。ノアのいやらしい声を聞いて、私まで、おまんこ熱く……っ。

はあ、はあ……っ。お、オナニー、してしまいそうになる……っ。

自分でおまんこほじって、私もいっしょに、気持ちよく……っ。

え……き、禁止？ そんな……っ。

はあ、はあ、はー……っ」

ノア「んうっおっ、おっほっ、んうおおっ、ほっおおお……っ。

おおお……っ、おチンポ、奥に……っ。子宮にっ、届いて……っ。んっおお……っ。

【効果音…セックス・激しく】

んっおおおおお……っ。お師匠様あ……っ。んっいいい……っ。

【移動…左耳・近距離】

んお、んう、おん、うん、おん、おんっ、ん、んお、ほお、おふ、ふおっ……。

あっ、あっ、奥っ、突かれっ、かったいおちんちんっ、ぐりぐりって、おおおっ、奥っ、おっく……っ。っおおお……っ」

ヴィ「お、お師匠様……っ。射精……っ、するのですか……？

おチンポから、どびゅどびゅ、あっついザー汁、お出しに……っ。

私の目の前で、妹に種付け……っ。ついさつき処女を奪ったばかりのおまんこに、中出し射精……っ」

ノア「んっうう……っ。はいっ、はいっ、ください、お師匠様……っ。んっおお……っ。私のおまんこにっ、中出し、してください……っ。

いっばい、いっばい、中出しびゅっびゅっ、おちんちん、びゅるるってえ……っ。んっ、おっ、おう、んっ、んうっ、ひお、っおお、んおう、んっく、くお……っ。

おっ、ぐっ、イグっ、お師匠様っ、んっおおっ、ほっおおお……っ。

ほおっ、んんお、つくお……っ、んうっ。おおん、うん、おんっ、おっ、んお、おお……っ。んいっぐっ、イググっ、んおおおっ、イグイグっ、イグぐうう……っ。おおっおおお……っ。

お師匠様のおちんちんでっ、処女まんこっ、イギ、ますう……っ。っおおおっ、んんお

っ、ほっおおおっ、おっおおお……っ。

【効果音…射精】

（絶頂）んうおおおっおおお……っ。ほおおおおっ、おおおおっ、んうううっおおおお……っ」

ヴィ「ああ……っ。おチンポ、根元までずっぷり突っ込んで、子宮に直に、注ぎ込み、生ハメ中出し……っ。

こっちにまで、どくどくという音、聞こえてくるかのようです……っ。

なんて、いやらしい……っ。たくましい、お射精です……っ。お師匠様……っ」

ノア「うううう……っ。ふっううっ、んっううっ、ふううう……っ。はー……、はー……っ、はー……っ。んっはー……っ」

※オホ声・耳舐め停止

ヴィ「お師匠様……。中出し、お疲れさまでした……。んう、はあ……」

ノア「はあ、はあ……。初めてのセックス……すごかった……っ。こんなセックスだったら、私、毎日だって……。

【効果音…ペニス引き抜く】

んっおお……っ。

ほっお……っ。ふっうう、はあ……っ。おちんちん、引っこ抜かれるの、やば……っ。

おまんこ、吸い付いて……っ。持っつかれるかと、思っっちゃった……っ。はあ、はあ……っ」

ヴィ「あ……っ、次は、私の番……なのですね、お師匠様……。

ええ、わかりました……。私も、ノアのように……。

処女ではなくて、申し訳ないのですが……たくさん、犯してください……っ。

お願いいたします……っ。

はー……、はー……、はー……、はああ……っ」

【効果音…ベッド軋む音】

【ヴィ…位置…正面・近距離】

【ノア…位置…左耳・近距離】

ヴィ「お師匠様……っ。はあ、はあ……っ。

おチンポ、まだそのように、大きく……っ。わ、私の剣よりも太くて……っ。

ああ……っ、突き刺されてしまう……っ。お師匠様のぶっといおチンポで、私の、おまんこ……っ。

【効果音…水音】

んっあ……っ。あ、熱い……っ。

来る……っ、来る……っ。生ハメチンポ、来るう……っ。

【効果音…挿入】

おっおっおっおっお……っ。んっおっお、ほっおっおっお……っ。

入った……っ。あの時の、ゴブリン以来のおチンポ……っ。うううう……っ。

でも、全然違う……っ。嫌悪も拒絶も、まったくない……っ。

これが、ホントのおチンポ……っ。おチンポセックス……っ。気持ち、いい……っ。

【効果音…セックス 開始】

ひい、おほお、ううおっ……。おお、ん、んふ、んお、んう、お、っお……お、おっ、ん、んふう、んっ、んお、おん、んう……。

おっおっお……っ。おチンポ、ピストン……っ。おチンポ、ハメハメえ……っ。っおお……っ」

※オホ声継続

ノア【囁き】姉さん、すごい声……。ううん、ノアもこんな声、出しちゃってた気がする……。

お師匠様のおちんちんで、おまんこの奥、いっぱい突かれて……。
はあ……お師匠様……。

(耳舐め)んふう……えろ、れる……。ん……。んう、れる、れる、えろ……」

※耳舐め継続

ヴィ「おっ、おとおっ、おチンポ、すっごい……っ。くっううう……っ。

ゴブリンに犯されかけた記憶っ、全部っ、消えてく……っ。

あのっ、嫌な感覚っ、消えて……っ。お師匠様のっ、気持ちいいおチンポの感触がっ、おまんこにい……っ。

あっ、あっ、ありがとっ、ございますっ、お師匠様……っ。おとお……っ。

うううっ、っふううっ、んおとおっ、んっううっおとお……っ。」

ノア「はあ……っ。熱い……っ。姉さんが犯されてるの見て……っ。ノア、またおまんこ、熱くなって……っ。

お腹、お師匠様のどろどろザーメンでたふたふなのに、もっと欲しくなっちゃう……っ。もっとお師匠様の、熱いの、ほしいです……っ。

（耳舐め）じゅる、くちゅぐちゅ、じゅじゅ、ちゅるちゅる、れろれるる……」

ヴィ「おとおお……っ。奥っ、ぐりぐりっ、おっほっ、おとお……っ。

声、止まらない……っ。メスの喜びっ、刻みつけられてっ、おっ、おっお……っ。

んお、うっふ、うん、おほ、おんっ、おんっ、おんっ。おっお……っ。

どちゅどちゅピストン……っ。お師匠様のっ、力強いおチンポ、さいっ……っ。んっお……っ。

ん、んお、おん、おお、おん、おお、んっ、んふ、んっふ、おお、おお、おおん、んおん……っ。

【移動…右耳・近距離】

んっお……っ！？ お師匠様……っ。さらに、奥深くまで……っ。うううう……っ。

おチンポ、感じて……っ。子宮っ、降りて来ちゃう……っ。っお……っ。」

ノア「はっ、はっ、お師匠様……っ。お師匠様……っ。

キンタマ、どくどく蠢いてます……っ。姉さんにも、いっぱい、種付けしようとして……っ。

あったかザーメン、たっぷり出そうしてるんですね……っ。

はい、いいですよ、お師匠様……っ。

姉さんのこと、もっとおちんちんでいじめて、いっぱい感じさせてあげて……。

トドメにたくさん、ザー汁ぶちこんであげてください……っ」

ヴィ「はい、はい……っ。お師匠様……っ。んっおっお……っ。

剣しか知らなかった、私に……っ、おチンポの快感、教えてください……っ。

おチンポでっ、っお……っ。オスに、幸せ屈服される、メスの喜び……っ。教えてください……っ。おっお……っ。

【効果音…セックス・激しく】

んおっ、おんっ、おっ、んお、おおんっ、おお、んっ、うん、おんっ、お、おっ、おんっ、
やんっ、おお、うおんっ。

おん、うん、おん、おんっ、ん、んお、ほお、おふ、ふおっ……。

ほおおっおおっおおお……っ。あっ、あっ、おまんこっ、おまんこっ、気持ちいい……っ。
っおおお……っ。

こんなのっ、剣なんかよりっ、何倍もっ、おっおおお……っ」

ノア「はっ、はっ、お師匠様……っ。かっこいい……っ。おチンポどちゅどちゅかっこいい
ですう……っ。

バキバキおチンポ、姉さんのおまんこ汁、ねっとり絡んで、にゆるにゆるで……っ。

あふれたおまんこ愛液、キンタマにまで糸引いて……っ。エロすぎです……っ。

ふー……っ、ふー……っ。はっ、はっ、はっああ……っ」

ヴィ「おお、ん、んふ、んお、んう、お、っおお……お、おおっ、ん、んふう、んっ、んお、
おん、んう……っ。

おっ、おっ、壊れっ、壊れるっ、人生っ、おかしくなる……っ。

真面目に旅っ、続けてきたのに……っ。おチンポっ、ドハマリしちゃう……っ。

だめ、お師匠様……っ。おチンポすぎでっ、ダメです……っ。っおおおお……っ。

メスになる……っ。私っ、ただのっ、おチンポ大好きなメスに……っ。メスオナホっ、な
ってしまいます、からあ……っ。んっうおお……っ。

んお、んふう、うう、うお、おう、んう、んっく、くう……んんう……。

んっうう……っ。おおおお……っ、おっぱいっんおっ、おっおおっ、握り潰されるのっ、
気持ちいいいい……っ。

んおっ、ん、んお、おん、おお、おん、おお、んっ、んふ、んっふ、おお、おお、おおん、
んおん……っ。

んっううう……っ。お師匠様……っ。私、もう……っ。んっうう……っ、おまんこ、イ
ッグ……っ。くっおおお……っ」

ノア「はあ、はあ……っ。どうぞ、お師匠様……っ。精液、出してください……っ。

ノアに出したのと同じくらい、熱くて、重くて、濃いザーメン……っ。姉さんにも、どび
ゅどびゅって……っ。

姉さんの子宮にも、どくどくって、いっぱい熱いの、注いでください……っ」

ヴィ「おっ、おっ、おおおおっ、んっうおお……っ。

ほおおっ、んいっぐっ、イッグ、んういっぐ、んうっおおお……っ。

おまんこアクメっ、おチンポで攻められてっ、おまんこイッグっ、イッグっ、ほおおっお
 おお……っ。

お師匠様のつ、ぶつといチンポでつ、メスアクメつ、来るうう……つ。

おおつおおお……つ。おおつおおお……つ。随ちるつ、随ちるつ、私つ、おチンぽつ、大好きに……つ。おおつおおお……つ。

んっおおっ、おおおおおおお……っ。

【効果音】.. 射精【

（絶頂）んうおおっ おおっ おおっ おおっ ……っ。ほっ おおっ おおっ、んっ おおっ おおっ おおっ おおっ ……っ」

ノア「びゅー……っ、っびゅー……っ。お師匠様の濃厚種付け汁、ぶりゆりゆりゆう……っ。

「つはあ、つはあ、いっぱい、出して……つ。お師匠様あ……つ」

ヴィ「おっおっおっ……っ。ねばねばチンポ汁、奥、溢れて……っ。おっおっおっ……っ。
知らない、感覚……っ。気持ち、よすぎる……っ。おっおっおっ……っ。おまんこ種付け、
メスの快感……っ。すごすぎ、るう……っ。ほっおっおっおっ……っ」

ノア「はー……っ、はー……っ、はー……っ、はあぁあぁ……っ。」

【撮きこまで】

※耳舐め停止

ヴィ「つはあ、つはあ、はあ、ふー……つ。

【効果音】..ぺニス引き抜く【

【移動正面・中距離】

んっおお……っ。はっ、ふっ、はっ、はー……っ。

お師匠様……つ。ううう……つ。おチンポ、ありがとう、ございましたあ……つ。

「はあ、はあ、はあ、ああ……」

ノア
【移動・正面・中距離】

はい……？ お、おちんちんのお掃除……ですか？ そ、それって……」

ヴィ「お掃除、フエラ……ですか……？」

はあ、はあ……。

はい……わかりました、お師匠様……。私たち姉妹の、ドスケベおまんこ愛液でどろどろ

になった、おチンポと、キンタマ……。

私たち二人で、きれいにさせていただきます……。

ほら、ノア……」

ノア「う、うん……。お師匠様の、おちんちん……。失礼します……」

※二人同時

ヴィ「んっへあ……」

ノア「んうあ……」

※二人同時

ヴィ「(フェラ・ゆっくり) んゝ、れる、れる……。ぺろ、えろ、れる、れる……」

ノア「(フェラ・ゆっくり) んじゅ、んぶ、んっく、ちゅぶ、ちゅぶ、ぢゅる……」

※それぞれフェラ音継続

ヴィ「んうあ……。お師匠様の、おチンポ……。舌で、ぺろぺろって……」

ノア「ふう、はあ……。先っぽも、根元も……。汁まみれのおちんちん、きれいきれいにい……」

※二人同時

ヴィ「(フェラ・ゆっくり) んあう。ぐぶ、(ゝ)ぶ、くぶ、ちゅぶ、じゅぶ、じゅっぶ」

ノア「(フェラ・ゆっくり) んちゅ、ちゅる、じゅる……。ちゅう、ちゅ、ちゅうう……」

ヴィ「竿の裏も……。しっかり舌、這わせて……」

ノア「たまたまに垂れてるのも、全部う……」

※二人同時

ヴィ「(フェラ・ゆっくり) んじゅ、んちゅ、んぶ、んぶ、ぶっぶ、んっぶ、んぶ、ぐっぶ」

ノア「(フェラ・ゆっくり) あゝん……。ちゅぶ、ぢゅる、ちゅ、くぶ、ちゅぶ、じゅる……」

※フェラ音停止

ヴィ「んっはあ……。はあ、はあ……」

ノア「おちんちん、きれいになりました。お師匠様……。ふう、はあ……」

ヴィ「これで……。今日の稽古は、おしまいですか……？」

わ、わかりました……。どうも、ありがとうございました……。んう、はあ……」
ノア「明日からは、本格的にお稽古……。始めるんですね。」

はい……。しっかり、準備しておきますね……。ふー……。ふー……」

ヴィ「では、お師匠様……。明日からも……」

ノア「お稽古、たっぷり……。お願いしますね……」

※二人同時

ヴィ「(チンポキス 一回) んっちゅ……」

ノア「(チンポキス 一回) ちゅーう……」

※二人同時

ヴィ「ふふふふ……」

ノア「んふふふ……」

5

【二人…位置…正面・中距離】

【効果音…金属がぶつかる音 連続で数回】

※二人同時

ヴィ「つはあ、はあ、はあ……。くう……。つ」

ノア「つはー……。つ、はあ、はあ、ふー……。つ」

ヴィ「こ、これがお師匠様の腕前……。つ。一太刀も入れられないとは……。つ」

ノア「やっぱ、剣の腕の方も、すごい……。つ。」

二人がかりでも勝てないなんて……。つ」

ヴィ「はい……。つ、今日はここまで、ですネ……。つ。

ありがとうございました、お師匠様……。ふう……。

正直、初めはどうなることかと思いましたが……。あなたの弟子になれて、正解だったようです」

ノア「うん。これならすぐにでも、あのオークたちに勝てるようになるよね、姉さん」

ヴィ「ああ。……え？」

はい、お師匠様。どういたしました？」

ノア「お稽古、おしまいなんですよね？」

ヴィ「剣の稽古は……？　というと、まさか……。

（発情）んう、ふう……っ」

ノア「あ……っ。こ、今度はまた、あっちの……？

（発情）あは……っ」

ヴィ「は、はい……っ。服を脱いで、尻をそちらに向けて立てばよろしいですね……っ」
ノア「わかりました、お師匠様……。

で、でも……お稽古終わりで、汗たくさんですけど……。

……あ、汗だから、いい……？　そ、そうでしたか。えへ、えへへ……」

【効果音…服脱ぐ×2】

【二人…移動…正面・バック用の位置】

ヴィ「はー……、はー……。こ、これでいいですか、お師匠様……」

ノア「ふー……、はー……。お尻、丸見えで……恥ずかしいです……っ」

【効果音…水音】

ヴィ「んお……っ！？　お師匠様の……っ。もう、こんな……っ。

おっ、おとおっ、ぶつといの、入る……っ。

【効果音…挿入】

んっおとお……っ。っふううっ、おっおとお……っ。

はっ、あっあああ……っ。

【効果音…セックス　開始】

ん、んお、んっ、うん、おんっ、お、おっ、おんっ、お、ん。ん、んう、んっ……。

っおおとお……っ。お師匠様の……っ。ぶつといの、また奥っ、まで……っ。ふんぐっ
う……っ」

※オホ声継続

ノア「ああ……姉さん、気持ちよさそう……っ。お師匠様のおっきいの、ずっぷり、突っ込まれて……っ。

一突きごとに、おっぱい揺れて、汗とか、いろんなお汁、撒き散らして……っ。

ううう……っ。お師匠様あ……っ」

ヴィ「やん、おんっ、いや、おん、おんっ、おう、うんっ、お、んっ。

っおおおおお……っ。んっううっ、ふううっ、おっおおおっ、ほっおおおお……っ。

んっ、うん、おんっ、お、おっ、おんっ。ん、おん、ほお、おおん、うん、おんっ、おっ、んお、おおんっ。

【効果音…セックス 停止】

【効果音…ペニス引き抜く】

んっおおおっ！？ っおっ、ううっおお……っ。

な、なんでおチンポ、抜いて……っ。まだ全然、途中なのに……っ」

※オホ声停止

ノア「んひあっ！？ こっ、今度はノアの番……っ！？

【効果音…挿入】

んっおおっおお……っ。一気に、おちんちん……っ。

【効果音…セックス 開始】

おお、おん、うん、うっふ、うん、おほ、おんっ、おんっ。っえああ……っ。お師匠様のっ、あっついよお……っ。っいいいい……っ」

※オホ声継続

ヴィ「姉妹のおまんこ、交互に味わうなんて……っ。おまんこ、味比べ……っ。どっちがより、お師匠様のおチンポ、気持ちよくしてあげられるか、……っ」

ノア「ん、んお、おん、おお、おん、おお、んっ、んふ、んっふ、おお、おお、おおん、んおん……。

んううっおお……っ。おちんちん、好き……っ。お師匠様あ……っ。んっおおっおお

お……っ。

んっうおっ、おっふ、つくうう、んうああ……っ。んいつ、んっひい……っ。へあっ、ふあっ、あっふ、んういい……っ。

おおおっ、っんんんおっ、おおおおっ、おうっ、んっおっ、おんんっおおおっ、っんん……っ。

んっううう……っ。お尻っ、揉まれっ、んっおっ、っおおお……っ。

ノアのっ、おっきいお尻っ、もみゅんもみゅんってっ、んうっおっ、ほっおお……っ」

ヴィ「はあ、はあ……っ。ピストンする度、震える尻肉、鷲掴みにされて……っ。ああ、私も……っ。

お師匠様っ、私ももう一度……っ。デカケツ揉みしだいでください、お師匠様あ……っ」

ノア「んっ、んっうっ、おっ、っんっ、おっ、おおっ、おおおっ、っうっ、んんっ。っおおっんっ、んっ、おっ、おおっ、っんっ、んうおお……っ。

んっ、っうっ、おっ、おおおっんんんっおおおっ、っうっ、おおおっうっ、んんおおおっんんっ、んお……っ。

【効果音…セックス 停止】

【効果音…ペニス引き抜く】

おっおおお……っ。んううっ、ふううう……っ。へっえ、へえあ……っ」

※オホ声停止

ヴィ【効果音…挿入】

んおおっおおお……っ。おチンポ、また来たあ……っ。

【効果音…セックス 開始】

おおっ、おおんんんっ、っおおおっ、おおおっうっ、うっ、っおっ、おおおっうっ。っんんんおおおっんんっ、んおっ、おっ、おっんんん……っ。

んっ、んうっおっ、んんっおっ、っうっ、っうっ、っおっ、おっ、おおっうっ、んんおっ、おおおっんんっ、おっ、っんんん……っ」

※オホ声継続

ノア「っふー……っ、ふー……っ。途中でおちんちん引き抜かれるの、切ないよお……っ。

お師匠様、もっかい、もっかい……っ。

媚び媚びケツ振りダンスしますから……っ。おちんちん、お願いします……っ。ふっうう、ふっうう……っ」

ヴィ「だめ、だあ……っ。まだ、私がおチンポ、してもらったばっかあ……っ。

っおおおお……っ。バックでハメハメ、すっごいつ、んっううおお……っ。子宮っ、奥につ、押し込まれるようなっ、強烈ピストン……っ。んっうっおおお……っ。

あっ、あっ、好き……っ。おチンポ、好き……っ。おおおお……っ。

お師匠様あ……っ。お尻もお……っ。ノアみたいにつ、お下品デカケツっ、揉みしだいて……っ。

んっううう……っ。はい、ありがとう、ごさいま——っおおっ!?

お師匠様っ、しよれはっ、んっううおお……っ。お尻っ、捻げて……っ。ケツ穴っ、見られてえ……っ。

んっううう……っ。はっ、恥ずかしい、です……っ。んおおおお……っ。

お師匠様っ、おおおっ、ふっおおおお……っ。

んっ、んっ、おおおおおおっ、んっ、んっ、っおおっ、おうっ、っおおおっ、おおっ。うっ、っんんんっおおおっ、っんっ、っおっ、おっ、んんっ……っ。

んっいいいい……っ」

ノア「お師匠様あ……っ。ほら、ほらあ……っ。ぷるぷる尻肉、美味しそうですよお……っ。

ここにおちんちん突っ込んで、いっぱいばちゅばちゅしてください……っ。

ドスケベデカケツ、っよっよオスピストンでたぶんたぶんって震わせて、キンタマ興奮させてくださあい……っ。

おちんちん大好き女剣士、ハメハメ交尾でお稽古してください……っ」

ヴィ【効果音…セックス 停止】

【効果音…ペニス引き抜く】

っおおお……っ。おおおおっ、そんなっ、おチンポっ、んっううう……っ。

も、もう少しでイキそ、だったのに……っ。んっおお……っ」

※オホ声停止

ノア【効果音…挿入】

んっおおおおお……っ。おちんちん、きた、おちんちん、おちんちん……っ。

【効果音…セックス・激しく 開始】

んっおおおお……っ。

んんっうっ、っおっ、おおっんんっおっ、おっ、っふうっ、ふっうっ、っおっ、おおっう
っ、んんんんっおおおんっ、っおおっ、うおおん……っ。

おちんちんっ、強い……っ。どちゅどちゅ激しくてっ、んっおおおっ、おまんこっ、中
っ、めちやくちやつ、えぐられてえ……っ。

おっ、っんんんっおっ、おっ、うっ、うっ、っおおっ、おっ、うっ、んんっ、んおんん
っ、っおおっ、んんんおお……。

うっ、おおっ、っんんんんっおおおおっ、おっうっ、っうっ、っおおおおっうっ、っん
っ、おおおっんっ、んんおおっ、おっん……っ。

っおおっおお……っ。お下品尻肉っ、掴まれてえ……っ。おおおっ、遊ばれてるっ、お
もちやにされてるう……っ。

んっおおっ、おっほおっ、んっおおっ、ほおおおおお……っ。

おっ、おっ、奥っ、おちんちんっ、先っぽっ、奥っ、くっっいてえ……っ。

入り口っ、こじあけられてますう……っ。っおおおお……っ。

中っ、出す気満々のっ、おちんちん、ハメハメ……っ。っおおお……っ。種付けおちん
ちん、来ちゃってる……っ。っおおお……っ」

※オホ声継続

ヴィ「そんな……っ。待つてください、お師匠様……っ。だ、出すんなら、私の子宮に……
っ。

お願いです、お師匠様……っ。私も、ほら……っ。おねだりオス媚びケツ振り、しますか
らあ……っ。

中っ、くださいっ、中におチンポっ、おチンポザーメンっ、どっぷり種付けえ……っ。

お願いしますっ、お願いしますっ、お師匠様あ……っ」

ノア「おおおっ、おおっんんっおおおっ、うっ、っうっ、おおっ、っうんっ、んっおっ、っ
んんんおっ、おっ、っんっ、んうう……っ。

っおおお……っ。お師匠様あ……っ。だめえ……っ。中っ、欲しいっ、おまんこの中
っ、ノアの中につ、種付け、生中出し……っ。

このまま出してっ、んっおおっ、おまんこ出してっ、おちんちん出してえ……っ。

んっ、んんっうっ、おおおんっ、んっ、っおっ、っうっうおおおっ、おおうっ、んっ、っ
おっ、おっ、おっ、っんっ、んおっ、おおおっんっ、

おおっおお……っ。んっおおおおおおっ、イッグ、イッグ、イグイグイグっ、
んっおおお……っ。

オホイキまんこにつ、ザー汁っ、くださあい……っ。っおおお……っ。

【効果音…射精】【効果音…セックス 停止】

（絶頂）んっおっおっおっおっ……っ。ほっおっおっおっ、んうっおっおっ、おっおっおっおっお……っ。

っおっおっおっ……っ。出てる、お師匠様のっ、おちんちん汁う……っ。どくどくってっ、うううう……っ。

お腹、重い……っ。どぶどぶ、子宮、溜まつてくう……っ。ほっおっおっ……っ。ふっう、ふっう、ふっう、ふー……」

※オホ声停止

ヴィ「ああ……。私も……。私も種付け、してほしかったのに……。

おチンポザーメン、子宮に、たくさん……っ」

ノア【効果音…ペニス引き抜く】

んっおっお……っ。ふうっ、ふっう、ふっうう……っ」

ヴィ「……え……？ お師匠様……？

【効果音…挿入】

っおっおっ……っ！？ おチン、ポ……っ。かったい……っ。

【効果音…セックス・激しく 開始】

んっおっおっおっお……っ！？ おっおっ、ふっおっおっお……っ。

あっ、あっああっ、お師匠様あ……っ。んっおっおっ、すごっ、さすがっ、ですっ、お師匠様あ……っ。

はいっ、はいっ、ありがとうございますっ、お師匠様あ……っ。

連続おチンポ種付けえ……っ。おっおっおっおっお……っ。さすが、ですう……っ。おっおっお……っ」

※オホ声継続

ノア「お、お師匠様……。あは……。っ。すご……。かっこいいですう……。はあ、はあ……っ」

ヴィ「おっんっおっ、おうっ、うっ、おっ、おうっ、っんっ、んっおっ……っ、おっおっ、

んんっ、おおおおお……っ、んんんっ、んうおっおお……っ

んっううう……っ。ケツ肉っ、また、掴まれて……っ。っおおお……っ。

んおおおっ！？ お師匠様っ、指……っ。尻穴っ、指っ、入って……っ。んっうおおおお……っ。

ケツ穴っ、ほじほじっ、んっおおっ、っおおっおおお……っ。

んっ、おおおおっうっ、うっ、っおっ、おうっ、んんっ、っおっ、おんんんっおおお……っ。

っおおおお……っ。っああああ……っ。イッグ、イッグっ、尻穴っ、ほじられてっ、おまんこイギます……っ。ぐっうううう……っ。

お尻もっ、おまんこもっ、同時アクメっ、ほおっおおおお……っ。

んんっうっ、おおおおっんんっ、んおおおおっ、っうっ、っうっ、おおっ、おうっ、っんんおおおおっんんおおっんんっ。

ううううっ、ほっおおっおお……っ。んうっおおお……っ。

はい、はいいいっ、出してっ、出してください……っ。アクメまんこにっ、ザーメン、どばどばあ……っ。んっおおお……っ。

んっ、っうっ、っおっ、っんっ、んおおっ、うっ、っうっ、っおっ、おおっ、うっ、っんっ、んおおっ、おおっんんっおおおっ。

んっううう……っ。イグイグ、んっおおっ、ひっぐっ、イッグっ、うっおおおっ、イッグうう……っ。

お師匠様っ、お師匠様あ……っ。んおおおっ、ほおおおっおおお……っ。

【効果音…射精】【効果音…セックス 停止】

(絶頂)っうおおおっおおっおお……っ。んっおおおおっ、ほおおおおおお……っ。
お……っ。

ふうううっ、うううう……っ。ザー汁、いっぱい……っ。っああああ……っ。種付け、幸せ……っ。

お師匠様のっ、おチンポ汁、注いでもらうの……っ。大好き、ですう……っ。うううう……っ

はー……っ、はー……っ、はー……っ、ああああ……っ。

【効果音…ペニス引き抜く】

んっおおお……っ。ほっお、っおおっ、んううっ、ふー……っ、ふー……っ。

お師匠、様あ……。ううう、ふうううう……っ。はあ、はあ、はああ……」

(フェードイン)

【効果音…セックス 開始】

【ノア…位置…正面・近距離】

ノア「おおおおおつ、んんっ、おっほおつ、おおっうっうっ、おおっ、っううんっ、っんうんっ、んんうおおんっ。

おっんっ、っおおつ、おうっ、っうっ、おおおうっ、っんっ、んっ、っおつ、おおんんんおおおおつ。

お師匠様あ……っ。どう、ですか……っ。んっうう……っ。ノアの、デカケツ叩きつけ、騎乗位おまんこお……っ。

っえああ……っ。うおおおつ、おっんっ、っおおつ、おうっ、うっ、おおつ、おっうっ、っんんっおおおっんんっ。」

※オホ声継続

【ヴィ…位置…右耳・近距離】

ヴィ【囁き】

(発情吐息) はー……っ、はー……っ、はー……っ。

今日も、おまんこの稽古ばかり……っ。この数日、剣での訓練はほとんどしてなくて……。ダメだとわかっているのに……っ。これじゃあ私たちは、何のために、お師匠様に弟子入りしたのか……っ。

でも……っ。んっひ……っ。

おっ、あっ、お師匠様に、お尻、むぎゅむぎゅされるの、っおお……っ。ぞくぞく、好きい……っ。へっ、ふっ、んっうう、えああ……っ」

ノア「おおっんっ、っおおおおおっうっ、っうっ、っおおおつ、おっうっ、っんんっ、んおおつ、っんんおつ、んんん……っ。

んっううう……っ。だって、姉さん……っ。お師匠様とっ、おまんこするの、気持ちいいんだもん……っ。

うっうう……っ。だいたいノア、元々、剣士なんかになりたく、なかったし……っ。
こっちの方が……っ。好き……っ。

んんんんうっ、っおおっ、おっ、おんんんっ、おおおっ、おうっ、っうっ、っおおっ、おっ、うっ、んんんんっおっ、おっ、おっんっ、んおっ、おおんっ、ん……っ。

っおおお……っ。お師匠様あ……っ。おっばい、触って……っ。力強い指でっ、おっばい、いじめてくださあい……っ。

んっおおお……っ。ほおおっ、おおおおっ、男らしい、乳揉み……っ。素敵、ですう……っ。んううう……っ」

ヴィ「私だって……っ。お師匠様のたくましい身体で、身体、押さえ込まれて……っ。

強いおチンポで、おまんこ、かき回されたら……っ。自分が剣士であることを、忘れてしまうんだ……っ。

あんな剣なんかより、お師匠様のためにおまんこ締めて、メスとして、性処理交尾のお手伝いをしての方が、楽しくて……っ。んっお……っ。

また、尻穴に指……っ。っおお……っ」

ノア「んんっ、おおおおおっ、おおおおおおおっ、うおおおおおっ、おっ、おおっ、おおおっ、ほおおお……っ。

ああ……っ。母さん、父さん、ごめんなさい……っ。ノア、お師匠様のおちんちに負けちゃったのお……っ。

母さんたちの仇を討つより、ここで、お師匠様とおまんこする方が、何倍もお……っ。

んっほ……っ、おっ、おっ、おおおおっ、んっおお、おおおっお……っ。おお……おっほおおおっ、おおっ、おおおおお……っ。

っは……っ、は……っ、は……っ。

んっえ……っ？ あは、はあい……っ。もつとえつちに、おまんこ腰振りですね。わかりましたあ……っ。

おまんこいっぱい、ぎゅっって締め付けてえ……っ。

【効果音…セックス・激しく】

んんん……っ、うほおっ、おおおっ、おおお……っ、おおっ、うっおおっ、おおっううう……っ。

んうっおおお……っ。お師匠様あ……っ。んっいいいい……っ」

ヴィ「ふー……っ、ふー……っ。

見ているだけで、こっちまでおまんこ、切なくなつて……っ。

【囁き ここまで】

おい、ノア……っ。お前、昨日は確かに、お師匠様に4回も種付けしてもらったろ……っ。

私は2回だけだったんだ……っ。今日の一発目、私に譲れ……っ。

【移動…正面・中距離】

お師匠様のお手を……いや、おチンポを煩わせるまでもない……っ。

この私が……っ。

(クンニ・クリ吸い) じゅぷ、じゅるるる、じゅ、ちゅううう……っ」「

ノア「え……っ。

んっいいいいいい……っ！？ 姉さんっ、んっおお……っ。いきなり、クリトリスっ、吸っちゃっ、んっひいいい……っ」

ヴィ「ふふ……っ。お師匠様のおチンポ啜えて無防備なクリちゃん、いじめてやる……っ」
ノア「ほおっ、おおっ、ほっ、おおっ、んうおっ、おおおっ、ほっおお、んうおっ、おおっ、うんんっ、ほっお……っ。

おおっおおお……っ！？

だっめっ、だっめっ、それっ、イツちゃう……っ。っおおおおお……っ。やだっ、やだっ、お師匠様の朝一特濃精液、注いで欲しいのにつ。んっほっっおおお……っ。

おおおっ、イッグっ、イッグっ、おまんこイッグっ、んおおっ、ほおおっおおお……っ。
んういいいいいい……っ。

【効果音…セックス 停止】

(絶頂) んっおおっおおお……っ。んうっおっ、ほっおおおっ、んっうううう……っ。

っああっ、んえあっ、んっううっ、おおおおお……っ。

【効果音…ペニス引き抜く】

んっへあ……っ。あっああ……っ。おちんちん、抜けちゃってえ……っ」

ヴィ「よし……っ。一旦お前はお預けだ……っ。

※微才ホ継続

ヴィ「んっお、おっほ、っおおお、んうっおお……っ。おっ、おっ、おっ、おっおおっお……っ。

おほおっ……おおんっ、おんっ、いや、やん、んおう、おう、おん、おんっ、んおっ、んおうっ……。

んっうううう……っ。っおおっ、ほっおおお……っ。っあああ……っ。お師匠様あ……っ。

おまんこキツキツ、締め付け騎乗位、いかがですかあ……っ。んっううう……っ。

お師匠様のおまんこ訓練のおかげでっ、おまんこピストン、とっても上手になりました……っ。

おかげでこうして、ドスケベセックス、いっぱい、いっぱい……っ。んっおおお……っ。

お師匠様あ……っ。ありがとうございます……っ。くっううっ、ほっおおっおお……っ」

ノア「おっ、おおっ、そこっ、弱いところ、指先でカリカリっでっ、んっうおおお……っ。

お師匠様っ、好きっ、それ好きっ、大好きっ、んっおおっ、ほっおおお……っ」

ヴィ「私もお……っ、おまんこ好きですっ、おチンポ好きですううう……っ。

剣なんかよりっ、セックスの方がっ、好き……っ。好きにっ、なっちゃいましたあ……っ。

っおっおおお……っ。

んおっ、おん、んくっ、んうっ……、んお、おおん、おっ、おんっ、んう、んお、んおっ、おっ、おっ、おっ、おっ……。

んっううう……っ。お師匠様っ、お師匠様あ……っ。んっ、おん、んお、おっく、んっく、いや、いお、ん、んうっ、んお、んおう……。

んっううう……っ。乳首っ、つままれてっ、おおお……っ。

はいっ、はい……っ。いっぱい、おもちゃにっ、してください……っ。

私の身体はっ、おっぱいも、おまんこも、お尻の穴もっ、全部……っ、お師匠様のもの……っ。

んっ、おお、おおんっ、おんっ、いや、やん、んおう、おう、おん、おんっ、んおっ、んおうっ……」

ノア「ノアもっ、ノアもっ、ノアも、お師匠様のものですう……っ。

いっぱいおまんこしてください……っ。いっぱいセックスしてください……っ。

もうっ、剣の稽古なんていりませんから……っ。そんなことする暇があったらっ、セックス、セックス……っ」

ヴィ「私もっ、同じ気持ちです、お師匠様あ……っ。

誓いますっ、私っ、剣っ、捨てます……っ。一生お師匠様のおチンポケースになります……

…っ。一生お師匠様のっ、性処理メスオナホになりますからあ……っ。

【移動…右耳・近距離】

おっ、おおっ、おっ、ほおっ、おんっ、おん、おんっ、やんっ、ふおっ。んおおっ、んっうっ、んっおっ、ほっおお……っ。

ああ……っ。母様、父様っ、ごめんなさいい……っ。仇を取れずにつ、淫乱なメスに成り果てた私を、どうか、許してえ……っ。

おっ、おっ、い、んお、おおん、おっ、おんっ、んう、んお、んおっ、おっ、おっ、おっ、おっ……。

っおおお……っ。あっあっ、いっぐ……っ。お師匠様のおチンポでっ、今日もっ、最高の、幸せアクメえ……っ。

んううう……っ。出して、お師匠様……っ。ザーメン、どばどば、今日も子宮に、種付け射精い……っ。んうっおお……っ。

ん、っく、ん、んふう、んお、おう……。んお、お、んおっ、おおっ、ううおっ……。んっううう……っ。好きっ、お師匠様っ、好きっ、好きっ、好きいい……っ。

出してっ、おチンポ汁っ、子宮っ、びゅくびゅくう……っ。おっおお……っ。

イキまんこっ、アクメまんこにつ、孕ませ射精い、お願いしますう……っ。

んお、んう、おん、うん、おん、おんっ、ん、んお、ほお、おふ、ふおっ……」

ノア「イツて、イツて、お師匠様……っ。おチンポイツて、姉さんのこと孕ませて……っ。

そしたら次は、ノアの番ん……っ。おっ、おっ、んっおっ、ほっお……っ。

っああ、ノアも、いっく……っ」

※二人同時

ヴィ「っおっ、おおっ、イツグ、イツグっ、イグイグイグっ、ほおっ、んいっぐう……っ」

ノア「んいっく、イクイク、イック、イキますう……っ。ほっおっお……っ。

【囁き ここまで】

【効果音…射精】【効果音…セックス 停止】

※二人同時

ヴィ「(絶頂) んうおっおお……っ。おっほっ、ふおおっ、んっおおっ、んっうおっおお……っ」

ノア「(絶頂) えっああああ……っ。んっひっ、んっいいっ、んうっおおっ、ほっお

っ おおお……っ」

※それぞれオホ声停止

ヴィ「おっ おお おお……っ。んっ おおっ、おっほっ、ふうっ おっ、おお おお おお……っ。
ううう……っ。子宮、今日もいっぱい、どくどくっ、びゆるびゆるう……っ。

っ あー……っ、孕む、孕む……っ。お師匠様の赤ちゃん……っ。っ おおお……っ。

っ はっ あ、はっ ああ……っ。ふー……、ふー……、ふーう……っ」

ノア「お師匠様……っ。次、次はノアもっ、ノアも孕ませてください……っ。子作りハメハ
メ、してください……っ」

ヴィ「私も、まだまだ足りません……っ。もっともっといっぱい、交尾、交尾い……っ」

ノア「お師匠様あ……っ。お師匠様あ……っ」

※二人同時

ヴィ「もっ とたくさん、子作り交尾、しましう……っ」

ノア「もっ とたくさん、子作り交尾、しましう……っ」

7

【効果音…ドア開閉】

【二人…位置…正面・中距離】

ヴィ「あ……お師匠様。お帰りなさい。ふふふ……」

ノア「あは。帰ってくるの、待ってました」

【ヴィ…移動…右耳・近距離】

【ノア…移動…左耳・近距離】

ヴィ「実は、ご報告がありました……」

ノア「私たち、お師匠様と何度も何度も、孕ませえっち、したおかげでえ……」

ヴィ【囁き】妊娠……してしまいました」

ノア【囁き】妊娠……しちゃいました」

ヴィ「お師匠様の赤ちゃん、本当に、このお腹の中に……」

ノア「ノアたち、今、とっても幸せだよ……。お師匠様のおかげで、剣士なんて危ないことやめて、赤ちゃん産ませてもらえるんだもん……」

ヴィ「母様や父様も、きっと許してくれますよね。

だって、復讐なんかよりも、女として、大好きな人の赤ちゃんを産んで、育てる方がよっぽど、立派なんですから……」

ノア「だから、お師匠様……。これからも、いっぱいいっぱい、えっち……しましょうね」

ヴィ「私たちに、お師匠様の赤ちゃん、何人も産ませてください……」

ノア「女としての幸せを、もっといっぱい、教えてくださいね……」

※二人同時

ヴィ「お師匠様……愛しております。ふふふふ……」

ノア「お師匠様……愛してまあす。んふふふ……」